

令和4年度 認定こども園足久保こども園 学校関係者評価

自己評価 令和4年12月実施

職員が評価シートをもとに、自らを振り返りながら自己評価を行った。

学校評価 保護者アンケート 令和5年1月実施

アンケート用紙を作成し、全園児保護者を対象にアンケートを実施した。

学校関係者評価 令和4年9月8日 開催 出席（小学校長・保護者会長・地区社協会長）

（選出した評価委員3名の方に公開保育に来ていただき、その後、園長・主幹保育教諭を交えての協議会を実施）

令和5年1月19日 開催 出席（小学校長・保護者会長・地区社協会長）

（自己評価をもとに議論・1年間の振り返り）

令和5年1月19日～令和5年2月3日 評価委員による評価と意見提出期間

1. 足久保こども園の教育・保育目標

「自ら学び 共に育つ」

- ・明るく元気な子・思いやりのある子・あいさつができる子
- ・話が聞ける子・自分を表現できる子

2. 園の教育・保育の具体的な基本目標

- (1) 活動体験を十分に積み重ねる。
- (2) 養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開をしていく。
- (3) 遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成する。
- (4) 園児一人一人の課題に即した指導を行う。

3. 学校関係者評価項目の取り組み・達成結果の自己評価

① 小学校長 ②地区社協会長

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省・改善点	評価	意見
1	保育の計画性	B	保育内容を職員間で共有しながら計画的に進めることができた。 年齢や個々の発達を把握し、計画に生かしてきた。 今後、教育・保育の内容に関する全体的な計画の見直しをしていきたい。	B	①「自ら学び 共に育つ」の目標に向け、実態に応じ計画的に職員が実践していると思われる。 ②職員間で保育の共有を大切にしてください。
2	保育の在り方 幼児・乳児の対応	B	乳児から幼児の保育の発達のつながりを意識し保育日課を組んだことで子どもの情緒の安定、自立、保育者との信頼関係の構築にもつながった。 どの子にも平等に関わる機会をつくる意識をする。	B	①一人一人を大切にし、保育している様子が参観を通してわかります。子どもの居場所があり、安心して生活しているように思う。

3	教諭としての 資質・能力 良識・適正	B	職員間で他クラスの職員と意見交換し自らの保育の振り返りを行うことができた。 職員や保護者と笑顔で接するよう心掛けたことでコミュニケーションがとりやすくなった。 気持ちにゆとりを持つことを意識するとともに遊びに生かせる知識を増やしていきたい。	B	① 子どもに対して笑顔で、それが職員にも保護者にも広がっていることがわかります。無理がない勤務ができるといいと思う。 ② 職員数が多いので意見交換の場を多くとる事が重要だと思う。
4	保護者への対応	B	行事や保育活動の様子を WEB 配信したりポータルサイトで掲示したりすることで伝えることができた。 笑顔で挨拶をして話しやすい雰囲気づくりをしている。 保育参加や行事などを通して園のことを理解してもらう機会を作るよう努力を今後もしていく。	B	① 入口の掲示やHPで様子がわかる。まずは子ども通し、普通のちょっとした挨拶やつながりを大切にしていこう方向で良いと思う。 ② 活動の様子をWEB配信しているが、回数を多くして保護者の方に安心感を持たせる様にするといいと思う。
5	地域の自然や 社会との関わり	B	感染症防止のため地域へのとの交流の機会は減っている。地域や社会との関りを作るために感染対策をしながら進めていく。 足久保は自然に恵まれているが保育にもっと生かしていきたい。	A	① 安全第一であり、機会が減っているのは仕方がないことで、その中でも子どものために何ができるか考えられている。 ② 社協（ふれあいの会）との交流は良かった。祖父母がいない子ども楽しめたのではないかと。令和5年度は回数が増やせるといいですね。
6	研修と研究	A	園内の公開保育を行い他クラスの保育を知ることで自分のクラスの保育の見直しができ、職員間のコミュニケーション力の機会が増えた。 非常勤の職員の研修時間の確保が課題。 今までやらなかった分野の研修も今後取り組んでいきたい。	A	① それぞれのできる場所で資質向上させようという意欲がわかる。勤務体制として非常勤の方も研修時間が設定できるといいですが難しいですね。 ② コロナ禍の中、大変でしょうが時間を見つけて話し合いをして下さい。

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが達成されていない

D 取り組みが不十分である